

令和7年度七生特別支援学校年間指導計画

学 部		高等部		学 年	1年
教科など名		特別活動(ホームルーム活動)		グループ名	A組
ねらい		・規則正しい生活リズム、学習に取り組む態度を身に付ける。 ・目標をもって活動に取り組み、充実感や達成感を味わう。 ・係活動に責任をもって取り組み、自己肯定感を高める。			
担当教員		○歳内 文太 廣野あやめ			
予定授業時数		35			
使用教科書					
月	単元(題材)名	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)	指導の工夫
4 5 6 7	・高等部の生活を知ろう(オリエンテーション) ・個人目標を決めよう ・1学期を振り返って夏休みの過ごし方を考えよう	○	・高等部の生活の流れやルールについて ・個人目標を決める ・1学期の学校生活の振り返り、夏休みの過ごし方について	・高等部の生活の流れを知る。 ・学校生活の基本的なルールを覚える。 ・目標を決め、目的意識をもって取り組むことができる。 ・夏休みの目標を決め、健康で安全な生活を送ることができる。	・視覚的な支援を適宜取り入れる。 ・具体的に分かりやすい言葉で、生徒自身のやる気や言葉を引き出せるように支援する。 ・目的を意識させ、繰り返し指導する。 ・目標などの達成度を生徒自身が理解できるような言葉や表示を提示する。 ・学校生活、社会生活における基本的なルールを事前に生徒自身と確認する。 ・行事などの活動を通して、自分を大事にし、周りの人と協力し合えるような雰囲気づくりをしていく。 ・タブレット端末を用いて活動の内容を分かりやすく提示する。
9 10 11 12	・個人目標を決めよう ・インターンシップ事前事後学習 ・2学期を振り返ろう ・冬休みの過ごし方を考えよう	○	・個人目標を決める ・インターンシップについて ・2学期の学校生活の振り返り ・冬休みの過ごし方について	・目標を決め、目的意識をもって継続的に取り組むことができる。 ・インターンシップについて知り、目標や持ち物を意識できる。 ・目標がどれくらい達成できたかななどを視覚支援などで振り返ることができる。 ・冬休みの目標を決め、健康で安全な生活を送ることができる。	
1 2 3	・個人目標を決めよう ・選挙について知ろう(主権者教育) ・1年を振り返ろう(進級に向けて)	○	・個人目標を決める ・選挙の基本や仕組みについて ・1年生の学校生活の振り返り	・目標を決め、目的意識をもって継続的に取り組むことができる。 ・誰に投票するのかを自分で決め、投票の方法を知ることができる。 ・2年生の流れを知り、全体的なイメージをもつことができる。	

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。

令和7年度七生特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部		学 年	1年	
教科等名	特別活動（ホームルーム活動）		グループ名	B組	
ねらい	・仲間との関わり合いを通して、仲間と協力する態度を育てる。 ・自分の役割を意識し、責任をもって取り組む態度を育てる。 ・卒業後の見通しをもって生活することで、意欲的に自らの進路について考える。				
担当教員	○正司 一貴 甲斐 琢也				
予定授業時数	35				
使用教科書					
月	単元(題材)名	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)	指導の工夫
4 7	・1年生の生活について、目標決め ・委員会活動決め ・1学期を振り返って夏休みの過ごし方		・学校生活の流れやルールについての確認 ・個人目標や学級目標、所属する委員会決め ・掲示物作り ・1学期の学校生活の振り返り ・夏休みの過ごし方の確認	・学校生活の基本的な流れを確認することができる。 ・目標を決め、目的意識をもって行動することができる。 ・所属委員会を決め、継続的に取り組むことができる。 ・目標が達成できたか、なぜできなかったか等を自分で振り返ることができる。 ・基本的な留意事項を確認することができる。	・タブレット端末を活用し、写真や動画等、視覚的な支援を適宜取り入れる。 ・具体的に分かりやすい言葉を提示しながら生徒自身の意思や言葉を引き出せるように支援する。
9 12	・2学期の目標決め ・話し合いをしよう		・2学期の個人目標決め ・掲示物作り ・行事の活動内容の確認 ・話し合い活動	・目標を意識して、学校生活を過ごすことができる。 ・自分の役割を意識することができる。 ・仲間との活動を楽しむことができる。	・自分の得意なこと、苦手なこと等を客観的に捉えることを繰り返し、指導する。 ・目標等の達成度を生徒自身が理解できるような言葉や表示の選択肢を提示する。
1 3	・3学期の学校生活を考えよう ・インターンシップに向けて ・選挙について（主権者教育） ・3学期を振り返って ・1年間を振り返って		・目標決め ・選挙の意義や仕組み ・3学期の学校生活の振り返り ・発表	・目標、役割に見通しをもつことができる。 ・自分の考えを伝えることができる。 ・自分の生活に関わることとして、一票の重みについて意識することができる。 ・目標が達成できたか、なぜできなかったか、どうしたら達成できるかを自分で考えることができる。 ・2年生になったら挑戦してみたいこと等、具体的な目標を考えることができる。	・学校生活、社会生活における基本的なルールを事前に生徒自身と確認する。 ・行事等の活動を通して仲間と協力し合うことや仲間の良い所を認め合うような学習を適宜、取り入れていく。

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。

令和7年度七生特別支援学校年間指導計画

学 部		高等部		学 年	1年
教科等名		特別活動(ホームルーム活動)		グループ名	C組
ねらい		・仲間との関わり合いを通して、仲間と協力する態度を育てる。 ・自分の役割を意識し、責任をもって取り組む態度を育てる。 ・卒業後の見通しをもって生活することで、意欲的に自らの進路について考える。			
担当教員		○中村 妙 松永 和也			
予定授業時数		35			
使用教科書					
月	単元(題材)名	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)	指導の工夫
4 5 6 7	・1年生の生活について、目標決め ・委員会活動決め ・1学期を振り返って夏休みの過ごし方		・学校生活の流れやルールについての確認 ・個人目標や学級目標、所属する委員会等の係決めや掲示物作り ・目標等1学期の学校生活の振り返り、夏休みの過ごし方の確認	・学校生活の基本的な流れを確認することができる。 ・目標を決め、目的意識をもって行動することができる。 ・所属委員会を決め、継続的に取り組むことができる。 ・目標が達成できたか、なぜできなかったか等を自分で振り返ることができる。 ・基本的な留意事項を確認することができる。	・タブレット端末を活用し、写真や動画等、視覚的な支援を適宜取り入れる。 ・具体的に分かりやすい言葉を提示しながら生徒自身の意思や言葉を引き出せるように支援する。
9 10 11 12	・2学期の目標決め ・話し合いをしよう	○	・2学期の個人目標決め、掲示物作り ・行事の活動内容の確認を通して、自分や仲間の役割についての話し合い	・目標を意識して、学校生活を過ごすことができる。 ・自分の役割を意識することができる。 ・仲間との活動を楽しむことができる。	・自分の得意なこと、苦手なこと等を客観的に捉えることを繰り返し、指導する。 ・目標の達成度を生徒自身が理解できるような言葉や表示の選択肢を提示する。
1 2 3	・3学期の学校生活を考えよう ・インターンシップに向けて ・選挙について(主権者教育) ・3学期を振り返って ・1年間を振り返って	○	・目標決め ・選挙の意義や仕組みの学習 ・目標など、3学期の学校生活の振り返り ・目標の達成度や今後の課題についての発表	・目標、役割に見通しをもつことができる。 ・自分の考えを伝えることができる。 ・自分の生活に関わることとして、一票の重みについて意識することができる。 ・目標が達成できたか、なぜできなかったか、どうしたら達成できるかを自分で考えることができる。 ・2年生になったら挑戦してみたいこと等、具体的な目標を考えることができる。	・学校生活、社会生活における基本的なルールを事前に生徒自身と確認する。 ・行事などの活動を通して仲間と協力し合うことや仲間の良い所を認め合うような学習を適宜、取り入れていく。

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。

令和7年度七生特別支援学校年間指導計画

学 部		高等部		学 年	1年
教科等名		特別活動(ホームルーム活動)		グループ名	D組
ねらい		・仲間とともに活動する喜びを感じ、協力し合う気持ちを伸ばす。 ・学校の活動や行事の内容を確認し、目標をもって取り組むことができるようにする。 ・自分たちで意見を出し合い、実行する中で自分の役割を果たす力を養う。			
担当教員		○村田 昭子 上江渕 充			
予定授業時数		35			
使用教科書					
月	単元(題材)名	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)	指導の工夫
4 7	・オリエンテーション ・1学期の学校生活を考えよう ・1学期を振り返って ・夏休みの過ごし方		・高等部の生活とルール ・自己紹介 ・個人や学級目標、係決め ・話し合いや意見交換 ・1学期の学校生活を振り返り ・夏休みの過ごし方	・学校生活のルールなどを確認し、意識できる。 ・自分や他者に対して、理解を深めることができる。 ・目標、役割に見通しがもてる。 ・自分の考えを伝えられる。 ・目標が達成できたか、振り返ることができる。 ・夏休みの過ごし方の留意事項を確認することができる。	・高等部での生活の決まりを具体的に提示し、ルールの確認する。 ・インターネットを使い、移動教室やインターンシップの行き先について調べる。 ・個人目標を学習、生活の場面ごとに、具体的に設定し、意識を高める。学期ごとに評価する機会を設ける。
9 12	・2学期の学校生活を考えよう ・話し合いをしよう ・2学期を振り返って ・冬休みの過ごし方		・学期の目標、係決め。 ・活動内容の確認 ・行事の活動内容の確認 ・自己の役割 ・学期の振り返り ・冬休みの過ごし方	・目標、役割に見通しをもつことができる。 ・自分の考えを伝えることができる。 ・自分の役割を意識できる。 ・仲間との活動を楽しむことができる。 ・成果と課題などについて振り返ることができる。 ・冬休みの過ごし方の留意事項を確認することができる。	・話し合い活動や、発表の機会を多く取り入れて、自分の考えを伝えたり友達の意見を聞いたりする場面を設ける。 ・進路に関する取り組みは、進路専任の教員と連携して、職業の学習と関連させた指導内容にする。 ・筆記をする活動では、生徒の実態に応じて、見本を提示したり、記入の枠を工夫したりする。
1 3	・3学期の学校生活を考えよう ・インターンシップに向けて ・選挙について知る(主権者教育) ・3学期を振り返って ・1年間を振り返って		・学期の目標、係決め。 ・活動内容の確認 ・生徒会役員選挙 ・学期の振り返り ・冬休みの過ごし方 ・進級する心構え	・目標、役割に見通しがもてる。 ・自分の考えを伝えることができる。 ・満18歳になったら投票ができること、投票までの流れが分かる。 ・目標が達成できたか、成果と課題などについて振り返ることができる。 ・進級へのイメージがもてる。	・活動や実態に応じて、集団と個別での活動を併用していく。 ・活動を通して仲間と協力し合うことや友達の良い所を認め合うような学習を適宜、取り入れていく。 ・学期末のまとめ活動で、頑張ったことを発表することで、自己肯定感や自己理解力、他者理解力が高まるようにする。

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。